



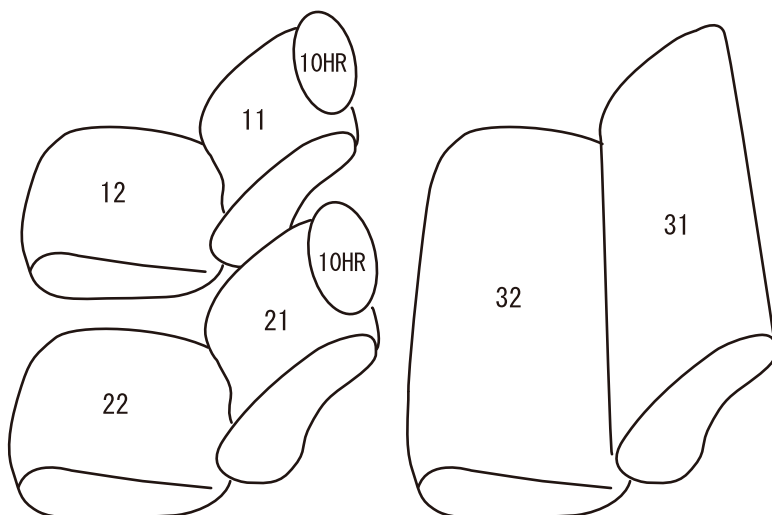
ダイハツ ミラ イース

専用シートカバー取付説明書

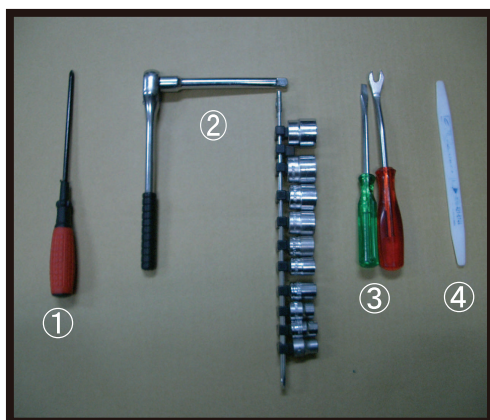
この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



工具名

- ①+ドライバー
- ②ソケットレンチセット
- ③—ドライバーまたは内張り外し
- ④ヘラ

*この車種では、③の工具は使用しません。

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかけられないようご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。
※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



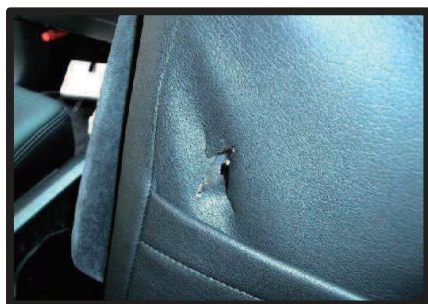
- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

コンビニフックについて

一部車種の1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておりません。フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することが可能です。



- ①ネジを外します。ツメで固定されている場合がありますので、取り外しには十分ご注意ください。ツメが破損すると元通りに取り付けられなくなる場合もあります。



- ②背もたれカバーを取り付けます。シート本体とカバーがずれていないかをよく確認した上で、フックの位置に切り込みをいれます。



- ③切り込み部分にフックを取り付けて完成です。

1 列目座面

※運転席側・助手席側を一緒に説明していますが、一部固定方法が異なります。



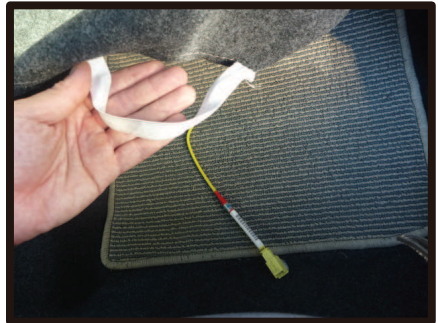
- ①始めに図のシート裏にゴムで引っかかっている生地を外します。
※図の部分を外すために②から⑥の内容を確認下さい。



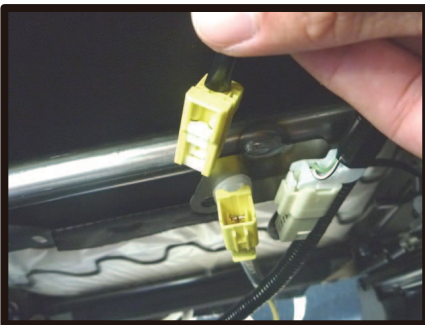
- ④シート裏に固定されているコネクターの受け側を、真下へ引き抜くように外します外します。



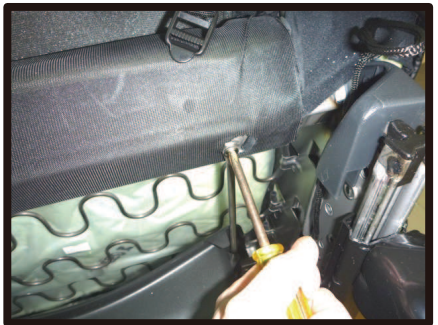
- ②運転席側は①の生地を外すには、黄色の配線がゴムに絡んでいるため一時的に配線を外します。



- ⑤ゴムに絡んでいた配線が外れて、①の生地が外せます。



- ③コネクターを外します。



- ⑥助手席にシートアンダートレイが装備されている車輦は、①のゴムがトレイのレールに引っかかっている場合があります。その場合はドライバーを使用して、レールを固定しているネジを、シート背面側だけ外してゴムを外して下さい。



⑦シートを最大に上げた状態でカバーの取り付けを行います。



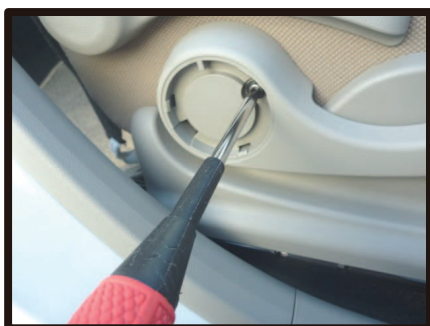
⑩シートリフターのレバーが外れます。



⑧シートリフターのレバーを外します。
丸いプラスチックを外します。



⑪カバーをかぶせます。
始めにリクライニングレバーをカバーの加工穴に通します。レバーの根本にしっかりと生地を入れ込みます。



⑨ネジをドライバーで外します。



⑫生地の利用を利用して、ゆっくりとレバーを抜き出します。作業は慎重に行ってください。カバーの加工穴からシートリフターの軸を出します。

1 列目座面

※運転席側・助手席側を一緒に説明していますが、一部固定方法が異なります。



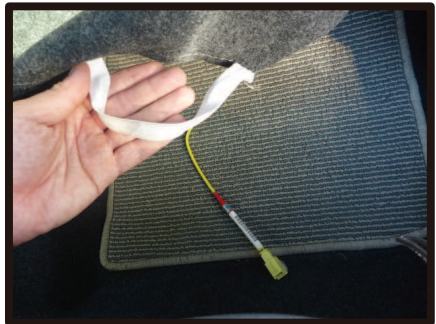
- ①始めに図のシート裏にゴムで引っかかっている生地を外します。
※図の部分を外すために②から⑥の内容を確認下さい。



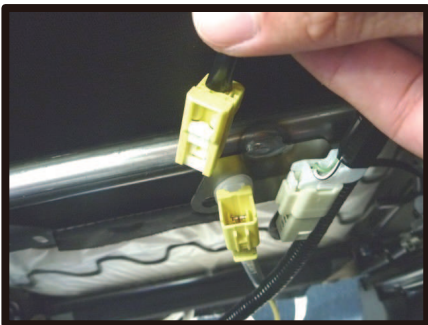
- ④シート裏に固定されているコネクターの受け側を、真下へ引き抜くように外します外します。



- ②運転席側は①の生地を外すには、黄色の配線がゴムに絡んでいるため一時的に配線を外します。



- ⑤ゴムに絡んでいた配線が外れて、①の生地が外せます。



- ③コネクターを外します。



- ⑥助手席にシートアンダートレイが装備されている車輦は、①のゴムがトレイのレールに引っかかっている場合があります。その場合はドライバーを使用して、レールを固定しているネジを、シート背面側だけ外してゴムを外して下さい。



⑦シートを最大に上げた状態でカバーの取り付けを行います。



⑩シートリフターのレバーが外れます。



⑧シートリフターのレバーを外します。
丸いプラスチックを外します。



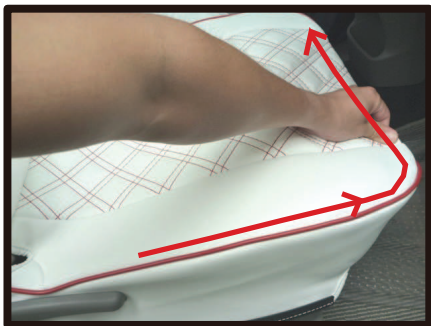
⑪カバーをかぶせます。
始めにリクライニングレバーをカバーの加工穴に通します。レバーの根本にしっかりと生地を入れ込みます。



⑨ネジをドライバーで外します。



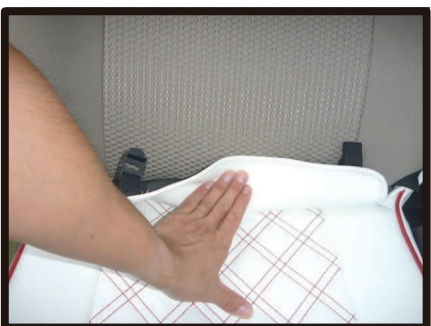
⑫生地の利用を利用して、ゆっくりとレバーを抜き出します。作業は慎重に行ってください。カバーの加工穴からシートリフターの軸を出します。



⑬はじめに通したリクライニングレバー部分を軸として、カバーを矢印方向にかぶせます。



⑭カバー外側面に付いているマジックテープのベルトを、図のようにシートとプラスチック部の隙間に入れ込みます（3本）。



⑮背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で行って下さい。



⑯入れ込んだベルトを、シート裏から引き出します。



⑰入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



⑱ベルトはシート裏の金属部分に、引っかけて折り返し固定します。



⑱シートリフターの軸下部分のカバーに、ゴムが3本(①②③)付いています。



⑳②のゴムは図のようにシートとプラスチック部の隙間に入れ込みます。入れ込んだゴムをシート裏から引き出して、①のゴムと同様にS字フックで固定します。



㉑①のゴムをシート背面に引き出して付属のS字フックを取り付けます。



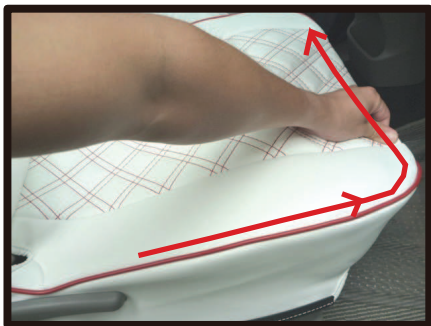
㉒③の短いゴムは、図のシートのプラスチック部を持ち上げて浮かし、その中にある丸い穴にS字フックで引っかけて固定します。プラスチック部は力をかけ過ぎると破損する可能性がありますので、ご注意ください。



㉓取り付けしたS字フックを、シート背面からシート裏の金属部分に引っかけて固定します。



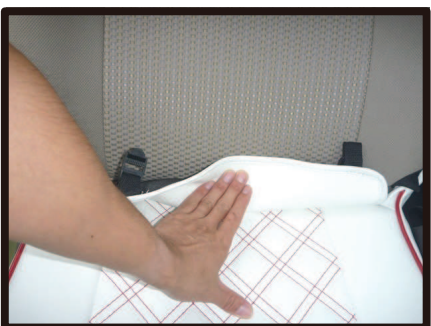
㉔シートリフターのレバーを元通りに戻します。
運転席側のカバー外側面は図のようになります。



⑬はじめに通したリクライニングレバー部分を軸として、カバーを矢印方向にかぶせます。



⑭カバー外側面に付いているマジックテープのベルトを、図のようにシートとプラスチック部の隙間に入れ込みます（3本）。



⑮背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で行って下さい。



⑯入れ込んだベルトを、シート裏から引き出します。



⑰入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



⑱ベルトはシート裏の金属部分に、引っかけて折り返し固定します。



⑱シートリフターの軸下部分のカバーに、ゴムが3本(①②③)付いています。



⑳②のゴムは図のようにシートとプラスチック部の隙間に入れ込みます。入れ込んだゴムをシート裏から引き出して、①のゴムと同様にS字フックで固定します。



㉑①のゴムをシート背面に引き出して付属のS字フックを取り付けます。



㉒③の短いゴムは、図のシートのプラスチック部を持ち上げて浮かし、その中にある丸い穴にS字フックで引っかけて固定します。プラスチック部は力をかけ過ぎると破損する可能性がありますので、ご注意ください。



㉓取り付けしたS字フックを、シート背面からシート裏の金属部分に引っかけて固定します。



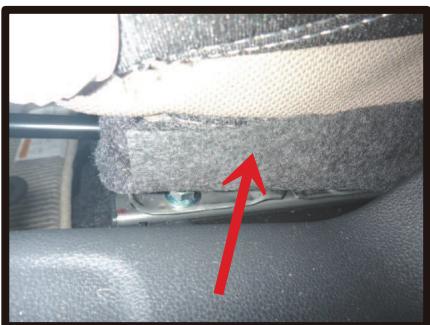
㉔シートリフターのレバーを元通りに戻します。
運転席側のカバー外側面は図のようになります。



②⑤ 助手席側の外側面は、カバー外側面のプラスチックの板を、シートとシート土台のプラスチック部の隙間に入れ込みます。



②⑧ フックは②⑥でめくり上げた生地の内側にあるシートのフチにはめ込み固定します。



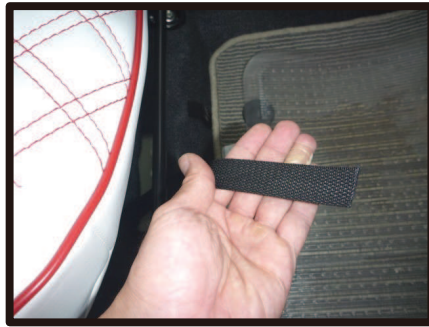
②⑥ シート内側面の矢印の生地をめくり上げます。



②⑨ カバー内側面の後方側です。プラスチック部のフチに生地を入れ込みます。



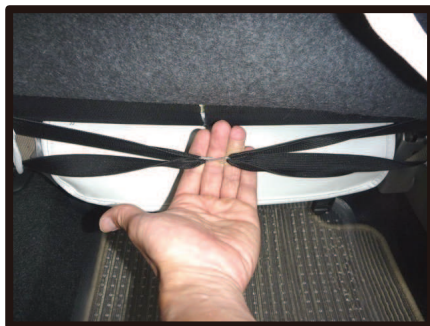
②⑦ カバー内側面に付いているフックを図の状態から生地と共に折り返します。



③⑩ カバー前方に付いているベルトを、シート裏を通してシート背面へ回します。



③① ベルトはシート裏にある、鉄のバーの上を通します。



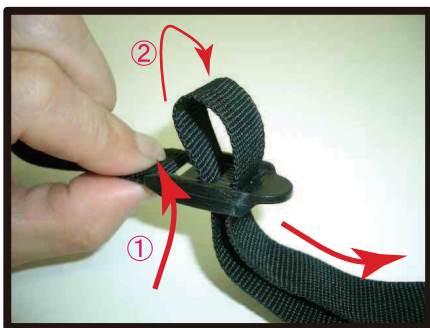
③④ カバー両側面の後部に付いているゴムを、シート背面からS字フックでゴムをつなぐように固定します。



③② シート背面からベルトを引き出します。ベルトを3ページ⑮で引き出した生地についているバックルに通して固定します。



③⑤ カバーのラインを整えて、1列目運転席側座面の完成です。助手席側も一部形状は異なりますが同様に取付けます。



③③ ベルトは①→②→③の手順で、まずバックル中央に通し、折り返してバックルの端に通します。通したベルトを引くとカバーの前後を引き絞り固定されます。



②⑤助手席側の外側面は、カバー外側面のプラスチックの板を、シートとシート土台のプラスチック部の隙間に入れ込みます。



②⑧フックは②⑥でめくり上げた生地の内側にあるシートのフチにはめ込み固定します。



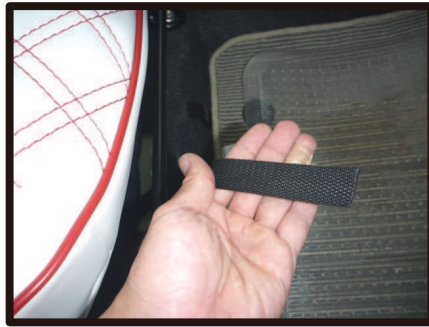
②⑥シート内側面の矢印の生地をめくり上げます。



②⑨カバー内側面の後方側です。プラスチック部のフチに生地を入れ込みます。



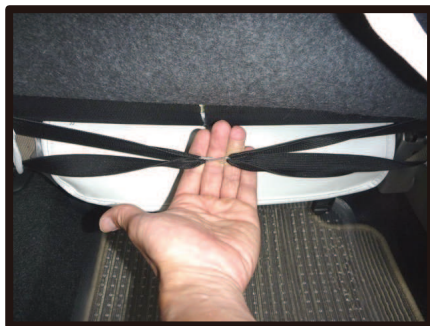
②⑦カバー内側面に付いているフックを図の状態から生地と共に折り返します。



③⑩カバー前方に付いているベルトを、シート裏を通してシート背面へ回します。



③① ベルトはシート裏にある、鉄のバーの上を通します。



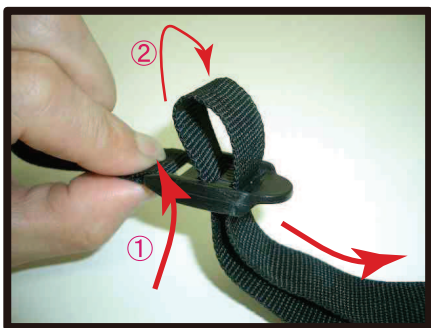
③④ カバー両側面の後部に付いているゴムを、シート背面からS字フックでゴムをつなぐように固定します。



③② シート背面からベルトを引き出します。ベルトを3ページ⑮で引き出した生地に付いているバックルに通して固定します。



③⑤ カバーのラインを整えて、1列目運転席側座面の完成です。助手席側も一部形状は異なりますが同様に取付けます。



③③ ベルトは①→②→③の手順で、まずバックル中央に通し、折り返してバックルの端に通します。通したベルトを引くとカバーの前後を引き絞り固定されます。

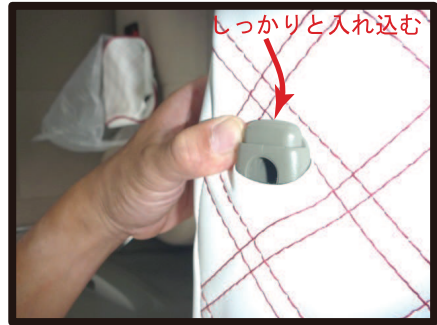
1 列目背もたれ

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、表紙から4枚目と5枚目の『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



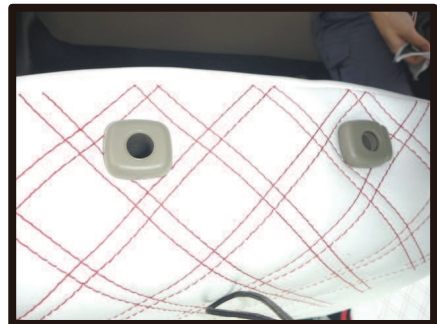
- ①カバーを半分程裏返して、シートのラインに合わせてかぶせます。この際、肩口部分の生地がしっかりと張るようにかぶせて下さい。



- ④ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。まず台座の片側のフチに生地をしっかりと入れ込みます。



- ②1ページの①で外した部分をめくり上げて、カバーの中へ入れ込みます



- ⑤生地伸びを利用して台座を取り出します。



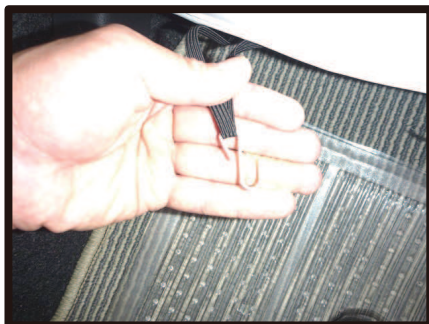
- ③シートのラインからずれないようにカバーを左右均等に引き下げて、シート全体にかぶせます。



- ⑥背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑦入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



⑩カバー背面下に付いているゴムに、付属のS字フックを取り付けます。



⑧①→②→③の手順で背もたれ側面の生地を、シートに馴染ませていきます。側面のシワが消えるまで繰り返して行って下さい。



⑪S字フックはシート裏の金属部分に引っかけて固定します。



⑨⑦で引き出した生地と、カバーの背面をマジックテープで固定します。



⑫サイドエアバッグ装備車は、サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。カバーのラインを整えて、1列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があります。危険です。

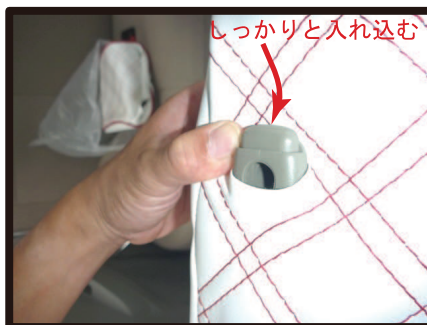
1 列目背もたれ

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、表紙から4枚目と5枚目の『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



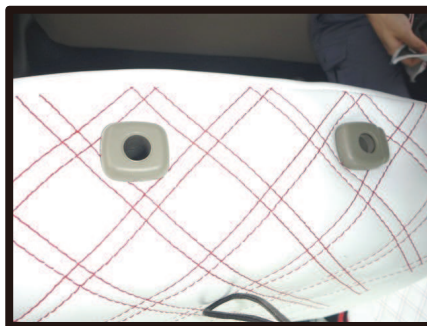
- ①カバーを半分程裏返して、シートのラインに合わせてかぶせます。この際、肩口部分の生地がしっかりと張るようにかぶせて下さい。



- ④ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。まず台座の片側のフチに生地をしっかりと入れ込みます。



- ②1ページの①で外した部分をめくり上げて、カバーの中へ入れ込みます



- ⑤生地伸びを利用して台座を取り出します。



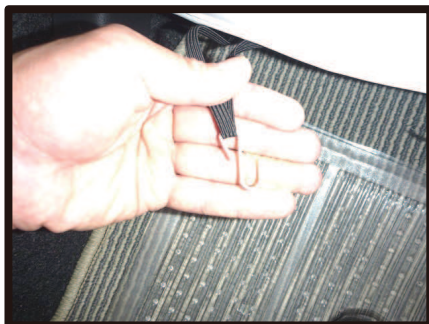
- ③シートのラインからずれないようにカバーを左右均等に引き下げて、シート全体にかぶせます。



- ⑥背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑦入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



⑩カバー背面下に付いているゴムに、付属のS字フックを取り付けます。



⑧①→②→③の手順で背もたれ側面の生地を、シートに馴染ませていきます。側面のシワが消えるまで繰り返して行って下さい。



⑪S字フックはシート裏の金属部分に引っかけて固定します。



⑨⑦で引き出した生地と、カバーの背面をマジックテープで固定します。



⑫サイドエアバッグ装備車は、サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。カバーのラインを整えて、1列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があります。危険です。

2列目座面



- ① 2列目座面は、シート前方のフックを外した状態でカバーの取り付けを行います。フックは図の矢印位置のシート裏2箇所固定されています。



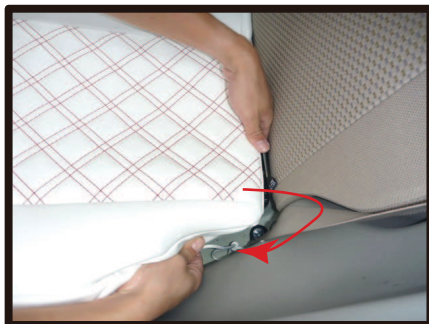
- ② シートを①の状態から真上に持ち上げることで、フックが外れてシート前方が持ち上がります。
※フックが固い場合は、無理をせず片側ずつ外して下さい。



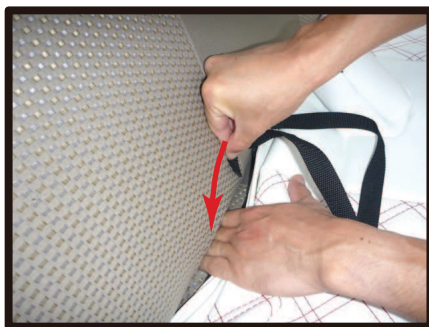
- ③ シートは車体から完全に外した方がカバーの取り付けは行いやすいのですが図の矢印位置のフックが大変外れにくいいため、このフックは外さずカバーの取り付けを行います。



- ④ 始めにシートの付け根の角にカバーをかぶせます。シートを左右にずらして、隙間を作りながら作業を行なって下さい。



- ⑤ もう片側のシートの付け根にもカバーをかぶせます。



- ⑥ カバーの後方に付いているベルトを背もたれと座面の隙間に入れ込みます(4本)。



⑦背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑩シート前方を持ち上げて、7ページの⑥で入れ込んだベルトを引き出します。



⑧カバーを裏返してシートのラインに合わせます。



⑪ベルトをシート裏で固定します。



⑨シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



⑫カバー側面から出ているヒモの片側で、図のように輪を作ります。

2列目座面



- ① 2列目座面は、シート前方のフックを外した状態でカバーの取り付けを行います。フックは図の矢印位置のシート裏2箇所固定されています。



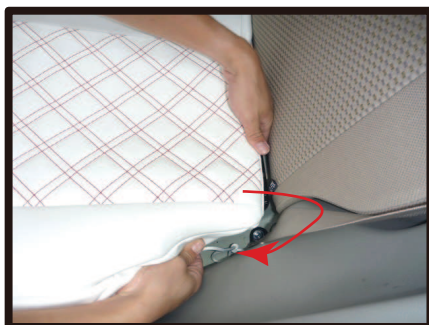
- ② シートを①の状態から真上に持ち上げることで、フックが外れてシート前方が持ち上がります。
※フックが固い場合は、無理をせず片側ずつ外して下さい。



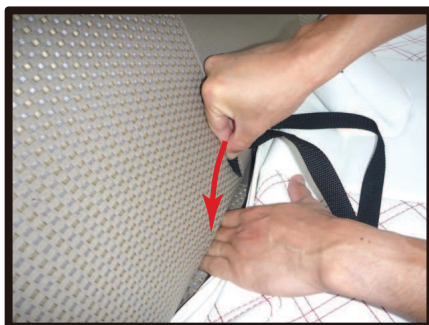
- ③ シートは車体から完全に外した方がカバーの取り付けは行いやすいのですが図の矢印位置のフックが大変外れにくいので、このフックは外さずカバーの取り付けを行います。



- ④ 始めにシートの付け根の角にカバーをかぶせます。シートを左右にずらして、隙間を作りながら作業を行なって下さい。



- ⑤ もう片側のシートの付け根にもカバーをかぶせます。



- ⑥ カバーの後方に付いているベルトを背もたれと座面の隙間に入れ込みます(4本)。



⑦背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑩シート前方を持ち上げて、7ページの⑥で入れ込んだベルトを引き出します。



⑧カバーを裏返してシートのラインに合わせます。



⑪ベルトをシート裏で固定します。

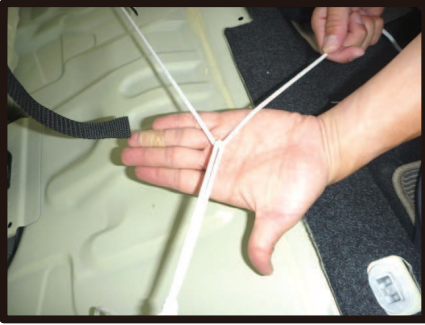


⑨シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



⑫カバー側面から出ているヒモの片側で、図のように輪を作ります。

2列目背もたれ



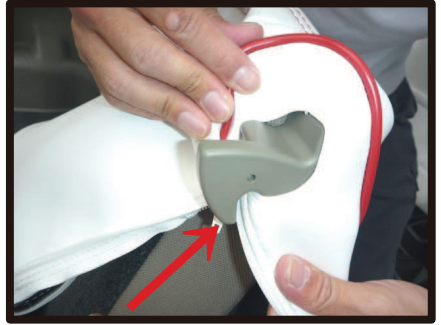
⑬もう片側のヒモを作った輪に通してシート下回りを絞り込み結び留めます。



⑭シートを元の状態に戻します。シートベルトバックルのフチに生地を入れ込みます。



⑮しっかりとシートが固定されているかを確認します。カバーのラインを整えて、2列目座面の完成です。



①カバー背面のファスナーを完全に開けます。シートを固定するフックをカバーの加工穴に通します。始めに矢印位置の突起した部分から加工穴に通して、生地をしっかりと入れ込みます。



②生地の伸びを利用してフック全体を通します。作業は慎重に行ってください。



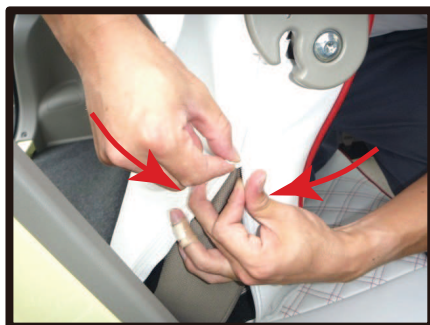
③図のT型トルクスレンチがあれば、①②のフックを取り外してカバーの取り付けを行うことも可能です。



④カバー両側面の加工穴にフックを通して、図のようにカバーをシート全体にかぶせます。



⑦背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。生地にはフックが付いているので、フックで生地を傷つけないようにご注意ください。



⑤カバー側面のファスナーを閉じます。生地を内へ寄せながら、ファスナーを慎重に閉じて下さい。



⑧シート背面のボードを取り出します。

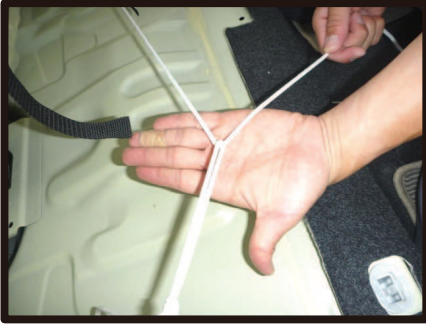


⑥カバーの背面下です。カバーをシートに直接貼り付けて固定します。固定位置はシートの縫い目のラインに合わせて固定して下さい。



⑨工具等を入れているボックスを取り出します。

2列目背もたれ



⑬もう片側のヒモを作った輪に通してシート下回りを絞り込み結び留めます。



⑭シートを元の状態に戻します。シートベルトバックルのフチに生地を入れ込みます。



⑮しっかりとシートが固定されているかを確認します。カバーのラインを整えて、2列目座面の完成です。



①カバー背面のファスナーを完全に開けます。シートを固定するフックをカバーの加工穴に通します。始めに矢印位置の突起した部分から加工穴に通して、生地をしっかりと入れ込みます。



②生地の伸びを利用してフック全体を通します。作業は慎重に行ってください。



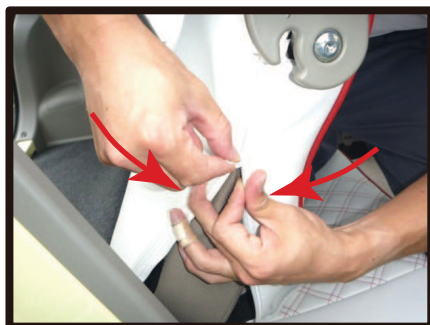
③図のT型トルクスレンチがあれば、①②のフックを取り外してカバーの取り付けを行うことも可能です。



④カバー両側面の加工穴にフックを通して、図のようにカバーをシート全体にかぶせます。



⑦背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。生地にはフックが付いているので、フックで生地を傷つけないようにご注意ください。



⑤カバー側面のファスナーを閉じます。生地を内へ寄せながら、ファスナーを慎重に閉じて下さい。



⑧シート背面のボードを取り出します。



⑥カバーの背面下です。カバーをシートに直接貼り付けて固定します。固定位置はシートの縫い目のラインに合わせて固定して下さい。



⑨工具等を入れているボックスを取り出します。



⑩⑦で入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



⑬シートを起こします。表面の生地が内へ寄っている場合があるので、カバーを側面の角に引っかけるようにして、シートのラインに合わせます。



⑪引き出した生地に付いているフックを、図の黒い生地に包まれている針金部分に引っ掛けて固定します。



⑭カバーのラインを整えて、2列目背もたれの完成です。



⑫シート背面下は図のようになります。両端のチャイルドシート固定用のバーには、生地がかからないようにして下さい。中央側のバーは加工穴に通して下さい。

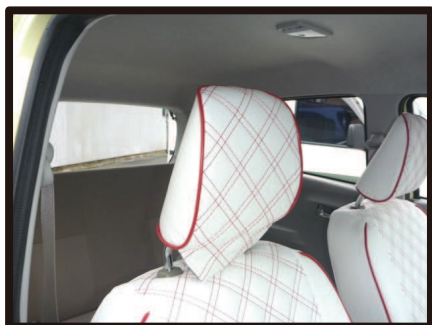
ヘッドレスト



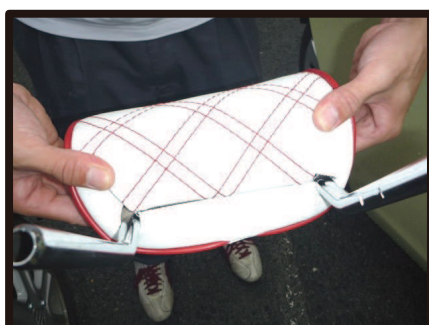
①カバーを裏返して、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。この際、ヘッドレストの先端の生地がしっかりと張るようにかぶせて下さい。



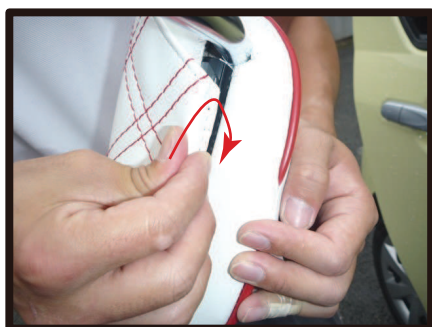
④フックはカギ状になっているプラスチックに板状のプラスチックを、生地とともに折り返して挟み込み固定します。



②ヘッドレストのラインからずれないように、カバーを左右均等に引き下げてヘッドレスト全体にかぶせます。



⑤ヘッドレスト裏は図のように仕上がります。



③ヘッドレストをシートから外して、ヘッドレスト裏でフックを固定します。



⑥ヘッドレストをシートに戻します。カバーのラインを整えて、ヘッドレストの完成です。



⑩⑦で入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



⑬シートを起こします。表面の生地が内へ寄っている場合があるので、カバーを側面の角に引っかけるようにして、シートのラインに合わせます。



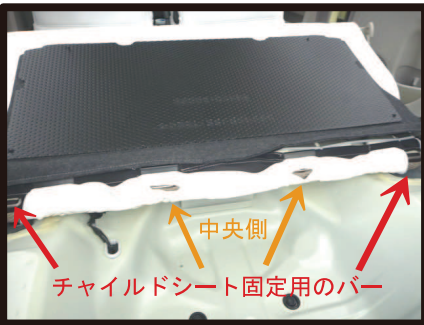
針金が包まれている部分

フック

⑪引き出した生地についているフックを、図の黒い生地に包まれている針金部分に引っ掛けて固定します。



⑭カバーのラインを整えて、2列目背もたれの完成です。



チャイルドシート固定用のバー

中央側

⑫シート背面下は図のようになります。両端のチャイルドシート固定用のバーには、生地がかからないようにして下さい。中央側のバーは加工穴に通して下さい。

ヘッドレスト



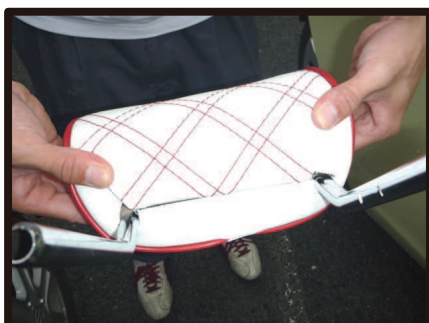
①カバーを裏返して、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。この際、ヘッドレストの先端の生地がしっかりと張るようにかぶせて下さい。



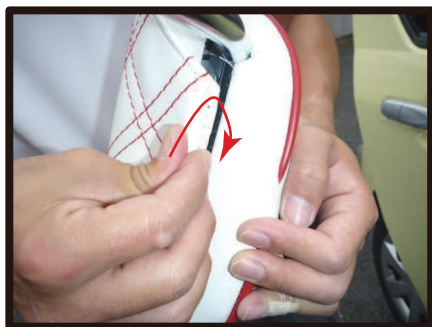
④フックはカギ状になっているプラスチックに板状のプラスチックを、生地とともに折り返して挟み込み固定します。



②ヘッドレストのラインからずれないように、カバーを左右均等に引き下げてヘッドレスト全体にかぶせます。



⑤ヘッドレスト裏は図のように仕上がります。



③ヘッドレストをシートから外して、ヘッドレスト裏でフックを固定します。



⑥ヘッドレストをシートに戻します。カバーのラインを整えて、ヘッドレストの完成です。

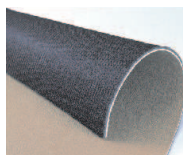


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。

